

日本最初の屋上庭園 旧秋田商会



平成元年当時

大正4年に建築された旧秋田商会の社屋兼住宅もまた、日本の近代建築史を代表する建築物です。西日本で最初の鉄筋コンクリート造りで、地上3階、地下1階、2,3階の内部には和室をしつらえ、屋上に庭園と茶室を設けてあり、都市空間の巧みな活用例として今日まで注目を集めています。

現在では、観光情報センターとして建物内部を公開しています。